

9月18日(日) 翠風祭(文化祭) 招待試合

世田谷総合 63 - 63 慶應義塾女子

1Q	11	-	10	3Q	16	-	20
2Q	13	-	11	4Q	23	-	22

【試合レポート】

- 1Q 両チームともマンツーマンでスタート。世田谷総合のスタートは2年生。序盤は重い試合展開で、両チームともなかなか得点が伸びない。
- 2Q 世田総は3年生が出場2-1-2ゾーンに切り替える。相手エースの9番をなかなか止められず、点差を広げられない。
- 3Q 世田総は引き続き3年生が出場。後半の入りで、世田総は2-2-1オールコートゾーンプレスで試合の流れを引き寄せるも、後半にスタミナが切れ、逆転を許す。
- 4Q 世田総は1・2年生にスイッチし、点の取り合いとなる。1-3-1ゾーンで流れを引き寄せ、一進一退の競った展開となる。世田総5番のミドルが決まり、同点とする。両チームとも最後のオフENSEを決めきれず、同点のまま試合終了。



新型コロナウイルス感染症の影響で途切れていた文化祭の招待試合を、今年度復活させることができました。応援してくださった皆様、ありがとうございました。招待試合の運営を経験した生徒がいない中、手探りで進めていき、何とか開催することができました。まだまだ難しい情勢の中で、対戦をご快諾してくださった慶應義塾女子の皆さん、本当にありがとうございました。

今後も女子バスケットボール部の活動の幅をどんどん広げていって、生徒たちには沢山のことを経験してほしいと思います。大変なこともあるけど、これからも頑張ろうね！ (顧問：寺崎)

🏀 翠風祭 審査員特別賞 受賞 🏀

『翠風祭』（文化祭）で、女子バスケットボール部は「招待試合」を開催しました。対戦相手は、慶応義塾女子高等学校。手強い相手です。結果は同点で終了！時間の関係で延長戦はできませんでしたが、一進一退の見ごたえのあるゲームでした。その活躍が評価され、この度、翠風祭「審査員特別賞」を受賞しました。皆さん、熱い声援ありがとうございました！



新チームの目標の一つが「とにかく目立

つ！」つまり、大会や学校行事でいい成績を残し、注目されることなのです。その目標を、学校行事の表彰という形で達成できました。有言実行。頼もしい限りです。目標を立てることの大切さを、改めて実感してほしいですね。注目されるということは、学校生活でも気が抜けないということ。部活動だけでなく、学習や行事に全力で取り組み、よりよい集団（チーム）になってほしい。学校を代表する部活動の一員という、「自覚」と「責任」と「誇り」をもって、新たな伝統を築いていきましょう！

女子バスケットボール部 顧問 寺崎 真也